

アフリカ友の会

Amis d'Afrique

1991年

NGO「アフリカ友の会」設立

目的

アフリカ地域のHIV感染拡大防止

エイズ患者の支援活動

1993年

中央アフリカ共和国で活動開始

エイズは音のない戦争

アフリカサハラ砂漠以南地域に

世界の

HIV感染者の70%

エイズによる死亡の77%

エイズは人権の戦争

HIV感染率（15-49歳） 2001年末

ボツワナ	38.8%
ジンバウエ	33.7%
スワジランド	33.4%
ナミビア	22.5%
南アフリカ共和国	20.1%
中央アフリカ共和国	13.8%

世界子供白書 2004より

アフリカ友の会の活動

1. 集団啓発教育 助産師・看護師のエイズ研修会
2. エイズ患者の医療支援
3. エイズ患者の訪問診療
4. エイズ患者への給食・食糧配給支援
5. 保健指導員の養成
6. 家庭訪問によるHIVエイズの啓発教育
7. エイズ患者の生活支援：洋裁教室・マイクロクレジット
8. 栄養失調児のケア
9. エイズ孤児の就学支援

友の会の自己資金

2004年3月～2005年2月末

会員からの寄付 : 1445万円

助成金 : 329万円

毎日新聞希望ネットワーク 80万円

新潟ふれあい基金 100万円

アフリカ支援基金 149万円

事業収入 : 576万円

合計 2350万円

郵政省 ボランティア貯金

1993年から2002年まで助成金を受ける

総合計金額 : 9600万円

利点: 人件費や薬代に使用できた。

＊ ＊ ＊ 日本大使館の小規模無償援助
事務所建設 救急車 冷凍庫

世界銀行

エイズ対策プロジェクト

エイズ患者の医療支援

エイズの啓発教育

栄養失調児センター 3カ所

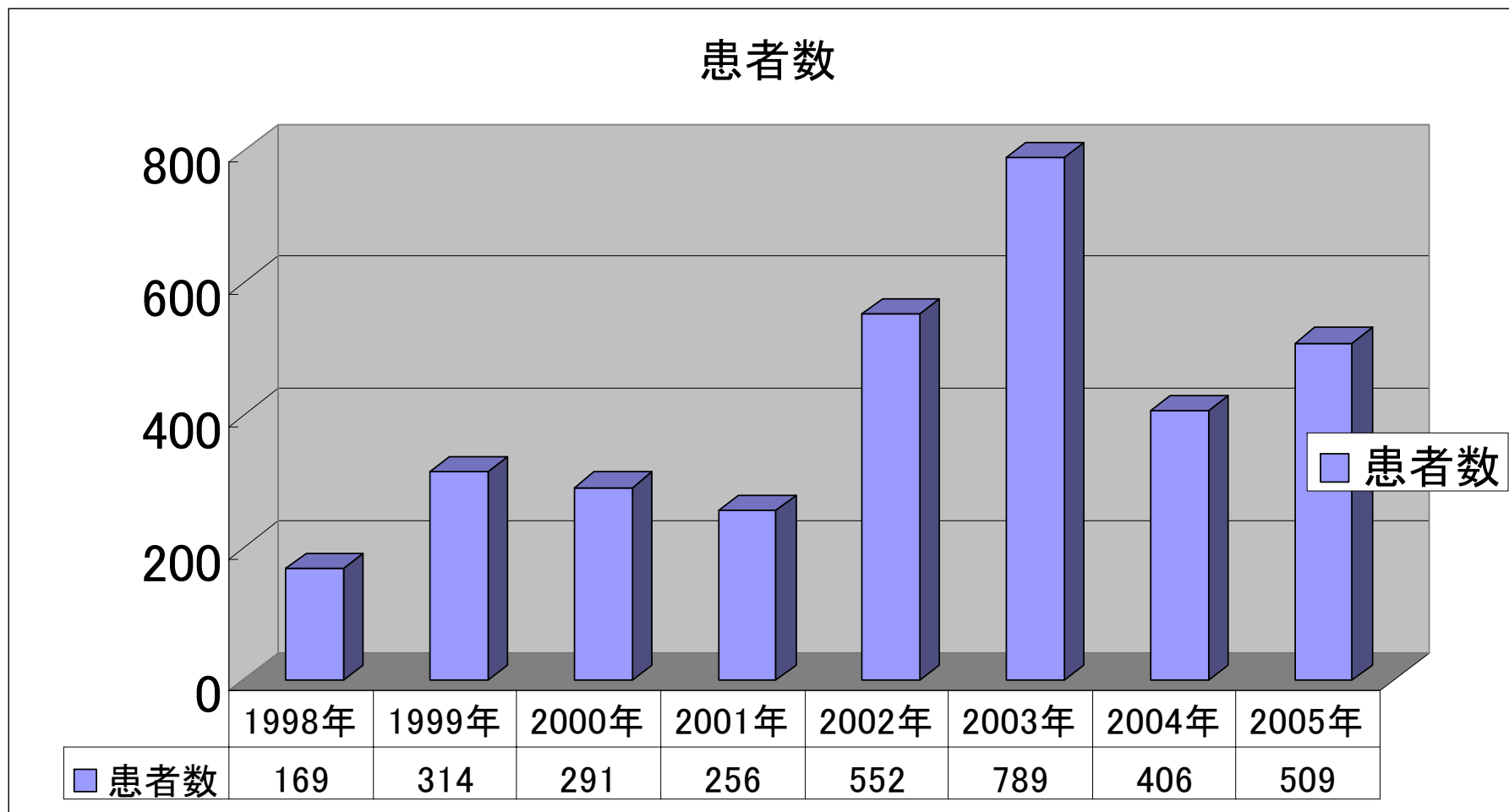
2年間で60万USドル

期間 : 2001年10月から2004年7月

2003年3月クーデターで政権交代による

治安悪化で10ヶ月延長

肺結核患者数の年推移

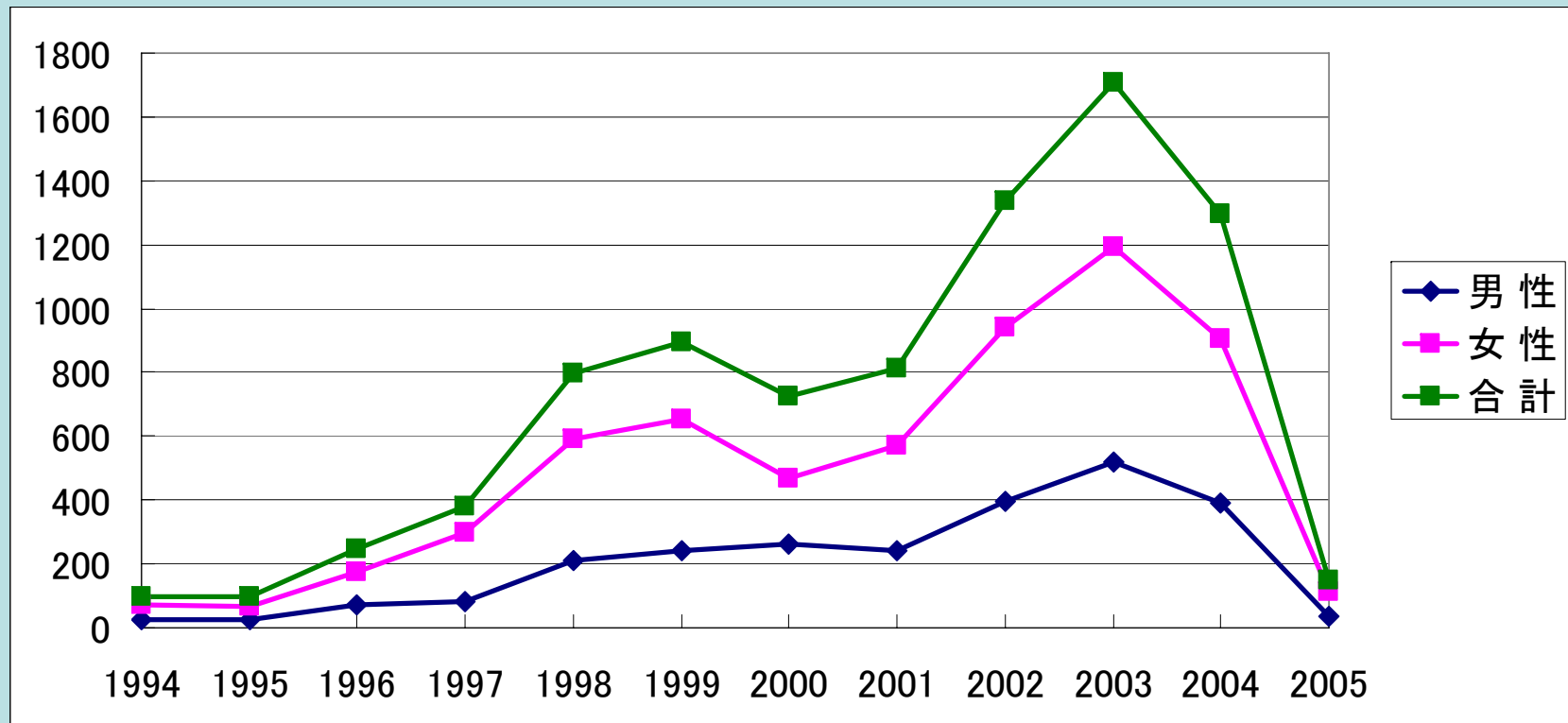


給食サービス・食糧配給

エイズ患者の栄養補給
栄養失調児センター

アフリカ友の会 : ブエラブ保健センターにおける統計

- HIV/AIDS感染者登録数の年推移



世界銀行の助成金終了により 2005年より活動方針の変更

- ① エイズ患者の登録は、結核を合併した患者に限る。
- ② エイズ患者の生活支援・自立支援(マイクロクレジット)強化
- ③ エイズ孤児の就学支援の強化

ビル&ミリンダ ゲイツ基金

50万ドルの助成金

年10万ドル5年間の契約

2003年7月から2008年6月まで

プロジェクト： 保健指導員の育成
啓発教育

首都に隣接する2つの州に展開

2001年4月

アフリカ友の会の保健センター訪問

ジミー カーター

元アメリカ合衆国夫妻

マイクロソフト社会長

ビル・ゲイツのご両親

啓発教育

保健指導員の養成
家庭訪問による指導

世界基金 2002年に設立

世界エイズ・結核・マラリア対策基金

三大感染症により700万人以上が死亡

地域別	アフリカ地域	60%
	アジア地域	20%
	ラテン アメリカ	20%
感染	HIV エイズ	60%
	マラリア	23%
	結核	17%

中央アフリカ共和国で
ARV(抗エイズ薬)

が必要なエイズ患者は4万人い
ると推定されていますが、
「世界基金」の援助でARVの治療
を受けているのは
わずか2000名です。

2006年1月まで

エイズ薬の開始

9月26日より、アフリカ友の会で開始

50名分のエイズ治療を開始

12月からは50名分追加し100名となる。

100名以上は増やさない

- 問題点：
- ① 医師・看護師・保健指導員などの増員が望めない
 - ② 医療関係者のトレーニングがシステムがない